

県内企業の自動化・省力化支援

【内 容】



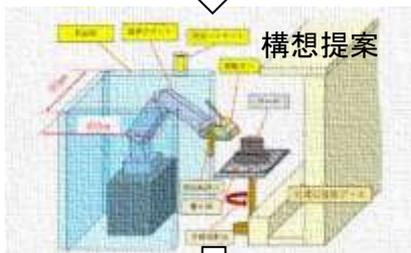
ヒアリング

フェーズ1 ↓ 簡易診断



現場見学

フェーズ2 ↓ 詳細分析



構想提案

フェーズ3 ↓ 導入検討



仕様書
作成支援

図1 作業分析WGで実施した活動の流れ

当センターでは、県内の中小製造業の生産性向上を支援するため、令和元年度に「IoT・ロボット活用分科会」を設立し、IoT・ロボットに関する最新技術の情報提供や当センターに整備した模擬スマート工場において企業の課題を解決する実証支援等を実施しています。

【自動化・省力化に関するWG（ワーキング）活動の実施】

今年度は企業と共同で自動化・省力化の可能性調査に取り組むWG活動を実施いたしました。

具体的には、現場訪問等により自動化の可能性診断を行う①作業分析WGと、実際のワークを用いて画像検査の可能性検証を行う②画像鮮明化WGの2つのグループを立ち上げ、県内企業15社にご参加いただきました。

①作業分析WG：活動の流れを図1に例示

作業分析WGでは、生産性向上のコンサルティングをされている企業にご協力いただき、参加企業を訪問、自社の課題等に関するヒアリングや現場作業の見学等を実施しました。その後、自動化の可能性や費用対効果について、いただいた助言をふまえながら意見交換を進め、検討の結果、自動化を推し進めると判断された企業と構想をまとめる作業を実施し、要求仕様書を企業が自ら作成する支援を行いました。

②画像鮮明化WG

画像鮮明化WGでは、画像検査用の照明メーカーにご協力いただき、照明を用いてキズ等を鮮明にする手法を学ぶセミナーと、実際のワークを用いた画像鮮明化の検証を行い、各参加企業における自動化の可能性検討を実施しました。

さらにAIを活用した画像検査についてもセミナーを開催し、今後の技術として知っていただく機会を設けました。

【活動の成果】

IoT・ロボット活用分科会における上記のような活動を通じて、企業の自動化・省力化に関する技術課題の実証・検証等に企業の皆様と共同で取り組み、具体的に導入や開発につながった事例が下記の通りございます。

○ロボット導入・自動化：22社 ○IoTツール開発・導入：9社

その1例として、本成果集の10ページにも当センターが支援して実際にロボットを導入された事例が掲載されておりますので、ぜひこちらもご覧ください。

基礎となった事業

平成28～30年度 中小企業IoT等自動化技術導入促進事業(地方創生推進交付金)
令和元、2年度 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業

現在の担当グループ

IT・マテリアルG グループ長 若生 進一 TEL:029-293-8575
主 任 岡田 真
主 任 前島 崇宏